県議会開会中

総務常任委員会での質疑

常任委員会の審議では、一問一答形式で質疑を行います。したがって、より詳しく県政の諸課題について議論することができます。所属する総務常任委員会で質問に立ちました。

青木かずのり

- 県議会議員/2期/自由民主党
- 昭和50(1975)年生
- 47歳
- 妻・息子・両親と同居

Q1 佐賀駐屯地（仮称）

国際情勢が緊迫しているにも関わらず、陸上自衛隊駐屯地の受入判断を迷い、国防に遅れを取ったことを憂慮している。佐賀県に駐屯地が開設されることは地政学的に見て国防の要となり得る。県として、開設後は駐屯地とどう向き合うのか伺う。

政策企画監 防衛省には周辺に配慮して工事を進めてほしい。駐屯地開設後、隊員の方々が地域に溶け込み信頼関係を築いていってほしいと考えている。

Q2 キャッシュレス決済の普及

県はこれまで、キャッシュレス決済の普及事業を4年間に亘り実施してきた。県は今後どのような取組みを行い、普及を推進していくのか伺う。

行政デジタル推進課長 最近では、県税の納付をクレジットカードなどで行えるようサービスが拡充した。今後は、行政手続きのオンライン申請の決済方法にもクレジットカードなどの利用を検討している。

Q3 県立大学

県立大学設置に反対する県民は少なくない。また、基本構想も固まっておらず賛否を明確にできないのが現状だ。しかし、未だ政治や選挙に関われず有権者ではない子どもたちの声や、県内大学進学を希望する中高生の声も伝えねばとの強い想いがある。

Q3-1 入学者の確保

隣県である福岡県の各大学や専門学校と学生を奪い合う状況になることが危惧される。そこで、入学者の確保策を伺う。

政策総括監 少子化の中においても、他県と異なり佐賀県は大学進学率に伸びしろがある。地域枠の設定や、保護者の負担減などの施策を検討している。

Q3-2 大学の設置場所選定

実際に通うことになる学生目線で決めるべきだと考えるが、現在の検討状況を伺う。

政策企画監 2月に公表された大学設置の基本的な考え方に沿う。関係機関との連携、通学利便性を考慮して決定する。

Q3-3 大学院の設置

どのような意図で大学院設置を提案したのかを伺う。

政策企画監 大学院は学生と教員の両者にとって重要な場所であるため、大学の機能強化には必要だと考えている。

Q3-4 県立大学の大まかなイメージ

新規設置となる大学にはイメージが大変重要だと考えるが、大まかなイメージはどのように捉えているか伺う。

政策総括監 いろいろなご意見を聞き、鋭意検討していく。次の令和5年11月議会で素案を修正した基本構想案を示していく。

青木の佐賀を ゆく!!

中高生との座談会

座談会：令和5年10月7日

中高生に聞いてみた

座談会を開催した想い

県が構想中の県立大学設置については、選挙や政治に関わっていない、いまだ有権者ではない、子どもたちや中高生の声こそ重要です。そこで、座談会を実施しました。

お話を聞いたのは

県内県立高校1年　Aさん
県内私立中学3年　Bさん
県内市立中学3年　Cさん

青木／本日はお集まりいただきありがとうございます。さっそくですが、県立大学構想についての印象はどうでしょうか。

Aさん／偏差値が高いなど、自分が誇れるような大学がいいです。佐賀大学と違う趣旨の大学であればいいと思います。

Bさん／交通アクセスがいいところにできたらいいと思います。交通系ICカードが使える駅が最寄りであればいいですね。

Cさん／選択肢が増えることはいいと思います。多様な分野から選択して勉強でき、留学制度などが充実していたらいいです。

青木／大学を決める時の基準はなにかありますか。

Aさん／施設が充実しているところ、学部学科それ自体がその分野で有名なところの2点です。九州大学のオープンキャンパスに行ったのですが、施設が充実していました。

Bさん／就職などを考えるとネームバリューがあるところがいいです。また、都市部にあったほうが便利なので、そのあたりも重視します。また、研究施設やパソコンが充実しているところがいいです。

Cさん／海外での仕事に興味があるので、多くの外国語や異文化について学べる事。また、経済や経営学などが学べるところがいいです。

青木／成熟した考え方に脱帽です。県立大学がどんな大学であれば行きたいと思いますか。

Aさん／ほかの大学と一緒であれば、選択肢にはあがらないと思います。何か県立大学の強みがあれば、いいと思います。

Bさん／電車とバスだけで通学できるところがいいです。

Cさん／外国語を学びながら専門性を高められる大学がいいです。

佐賀県の環境や特徴を活かしつつ、グローバルな人材を育成する大学であれば進学してみたいです。

青木／とても勉強になりました。ありがとうございました。

【 座談会を終えて 】

県立大学について、設置場所、特色のある学部・学科、公立大学の重み（ブランディング）が重要だと思いました。また、皆さんそれぞれ目的意識があり、意見をしっかり持っていると感じました。子ども、学生こそが佐賀の未来です。県立大学を新設するのであれば、未来を担う子ども・学生目線で考えていくべきです。

青木かずのり事務所
〒840-0842 佐賀市多布施1丁目11-12 1F
TEL0952-97-9323 FAX0952-97-9324

オフィシャルホームページ
https://aokikazunori.com/

議会での登壇映像をご覧いただけます